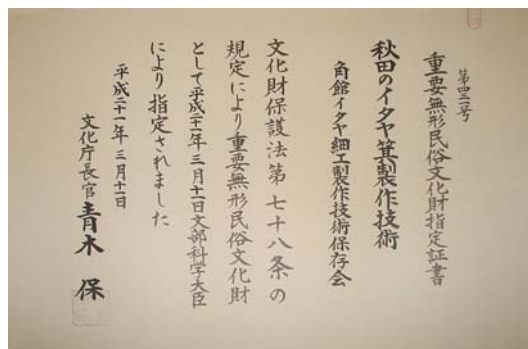


イタヤ箕製作技術が国重要無形民俗文化財指定

平成21年3月11日「秋田のイタヤ箕製作技術」が国重要無形民俗文化財に指定されました。指定に伴い同日、東京都千代田区の如水会館において、重要無形民俗文化財の保護団体に対する指定証書の交付式が行われました。



指定証書は角館樺細工伝承館に展示されています



交付者 文化庁長官 青木 保

保護団体 秋田市太平黒沢「オエダラ箕製作技術保存会」

会長 田口 昭平

仙北市角館町雲然「角館イタヤ細工製作技術保存会」

会長 菅原 清澄

仙北市に認知症サポーター110人誕生

認知症に対する正しい知識を持った「認知症サポーター」を養成する講座が3月12日に西木温泉クリオンにおいて、仙北市包括支援センター・介護保険事務所の主催、大曲仙北グループホーム連絡会の主管で開催されました。今回の講座に参加した110名の方々は認知症の症状や予防方法などについて説明を受けた後、寸劇を通して認知症の人に対する接し方を学びました。最後のDVDでは、多くの参加者が涙し、地域のみんなで支えあうことの大切さを学んだ約90分の研修でした。参加者の皆さんには認知症サポーターであることを証明する「オレンジリング」が渡されました。



仙北市消防団に消防車両が寄贈されました

(財)日本消防協会では、福祉共済制度の一環として共済事業に多大な功績がある消防団・市町村・消防本部に対して消防車両の交付を行っています。

仙北市消防団が交付対象に選出され、2月24日に消防車両が納入されました。

仙北市管内は面積の約八割が森林及び山岳地帯で、年々増加する山岳救助活動や、突発的に起こる大規模山林火災に対応するために、以前からジープ型の車両が熱望されていました。有事の際には生命・財産を守るために有功活用いたします。



寄贈概要

①寄贈者 (財)日本消防協会 会長 片山虎之助

②寄贈車両 仙北市消防団司令車 三菱パジェロ ロングボディー(7人乗)